



学校だより 第5号

9月 植の苗木

木城町立みどりの杜木城学園



令和7年 9月25日(木)
文責: 松ノ木 陽平

始業式

8月27日(水)より2学期が始まりました。始業式では3人の学園生が2学期に頑張りたいことを発表しました。

3年生代表は、1学期に総合的な学習の時間で木城の自然について学んで、木城の自然が好きになったので、2学期は木城の自然を守る方法を学びたいと発表しました。

4年生代表は、授業中進んで発表したいということ、これまで恥ずかしくてあいさつの声があまり出ていなかったので、自分も相手もよい気持ちになれるようなあいさつをすること、思いやりの心をもって行動できるようになりたいということを発表しました。

8年生代表は、学年全体として勉強をがんばろうという雰囲気ができるので、この雰囲気を維持したいということ、1学期の職場体験学習で、指示されて動くのではなく自分から動くことが大事だという学びを、修学旅行に生かし、体験活動の中で本物のコミュニケーション能力を身に付けたいということ、合唱コンクールで9年生に追いつけるように練習を頑張り、一日一日を丁寧に生きていくことを発表しました。

校長先生からは、2学期は自分を変え、向上させるチャンスがあるので、チャレンジしてほしいという話もありました。2学期は学園生一人一人が何かにチャレンジして、新しい自分を発見してほしいと思います。



海外派遣事業

7月28日(月)～31日(木)に木城町海外派遣事業で、20名の学園生が台湾を訪問しました。姉妹校の建成國民中学との交流会に向けて、

6月下旬から約1か月間、仲間と協力しながら入念に事前準備を行いました。そのおかげで、堂々と木城町と木城学園の紹介を行い、校歌を披露することができました。その後、みんなで考えたアイスブレイクのビンゴゲームを行いました。初めは、外国人の人とコミュニケーションをとることに不安を感じていたようでしたが、少しずつ緊張もほぐれ、英語やジェスチャーで表現する姿が見られました。

そして、グループに分かれて校内を巡りながら授業を体験しました。環境に関する授業では魚釣りゲームで盛り上がり、音楽の授業では一生懸命太鼓をたたき、また、台湾の美味しいお茶をいただきました。授業を通して仲良くなり、昼食時間には一緒に写真を撮ったり、LINEを交換したりする場面もありました。楽しい時間はあっという間に過ぎ、最後に全員で記念写真を撮りました。

この他にも、現地のいくつかの観光地を巡り学びました。初めての海外に緊張の表情も見られましたが、この4日間の体験を通して、日本と台湾の違いを感じ、それぞれが学びを深め、成長したと思います。

今後の予定として、11月8日(土)の「生涯学習のつどい」で研修の発表を行います。たくさんの方にご覧いただけますと嬉しいです。また、年度末の令和8年3月3日(火)には、建成國民中学の生徒が来校する予定となっています。



初挑戦！NHK 合唱コンクール

8月7日（木）と8日（金）に開催されたNHK 合唱コンクールに学園生が参加しました。今年度初めての取組で、音楽科の呼びかけによって、小学生の部に4年生～6年生から23名、中学生の部に7年生～9年生から30名の学園生が手を挙げて、練習に励んできました。毎日昼休みに練習を重ねて合唱をつくりあげました。夏休み前には、練習成果のお披露目を本校交流ホールで行いました。その歌声に、見ていた学園生が思わず「すごい」とつぶやいていました。コンクール当日、堂々と歌いあげましたが、入賞にはなりませんでした。しかし、会場にいた多くの方々から賞賛の声をいただきました。そして、この経験が現在、合唱コンクール（10月2日開催）に向けての練習に生かされています。このチャレンジが次年度以降も続いて、木城学園の伝統として受け継がれていくことを期待します。



イングリッシュ・デイ・キャンプ(English Day Camp)

8月21日（木）に木城学園で「イングリッシュ・デイ・キャンプ」がありました。5年生～9年生の希望者約30名が参加しました。本校のALTマリウス先生と県内から4人のALTが来校し合計5人のALTの先生方と会話をしたりゲームをしたりして楽みました。英語をしゃべりたいけど難しいと思っている人でも楽しく参加できるようにグループで協力しながら活動できるようにしました。最初は緊張して静かでしたが、グループでミッションをクリアするゲームを通してどんどん元気になってきました。最後のスナックタイム（おやつタイム）はとても和やかな雰囲気で、楽しくおしゃべりができました。参加した学園生の満足度も高く、英語への興味や関心が高まるよい機会となりました。企画・運営してくださった町教育委員会の皆様ありがとうございました。



耕心コーナー チャレンジ

二学期がスタートし学園生は、しっかりと学園の中で頑張る姿を見せてもらっています。始業式の私のあいさつの中で、今学期は今までの自分をさらに成長させるために、挑戦（チャレンジ）してほしいと伝えました。これまででも海外派遣事業、毛呂山町との交流、英語暗唱・弁論大会、学園生会役員立候補等、様々なチャレンジする機会はあります。この二学期も、合唱コンクール、中体連大会を始め、地域との交流等、自分自身を変化させる機会が多くあります。ぜひ、この素晴らしい環境のもとで、大いにチャレンジしてほしいと願っています。

ある文献に次のようなことが書いてありました。

何事にも勇敢に挑戦する人と、現状を守るために、新しいことには挑戦しない人がいます。では、挑戦する人、しない人の違いはどこにあるのでしょうか。それはイメージの違いではないかと思います。挑戦する人は、先に成功したときのイメージを考えます。新しい自分に出会う「喜び」、新しいプロジェクトを立ち上げる「感動」、新しい発見への「驚き」。そして、それらのイメージを実現させるための努力をします。逆に挑戦しない人は、先に失敗したときのイメージを考えます。周囲にばかりにされたら、自分の評価が下がったら、対処できないことがあつたら…。そして、それらのイメージが実現しないように、挑戦することをやめ、現状を守ることの努力をします。そうです。人はイメージしたことを達成する。もしくは防ぐために努力をするのです。プラスのイメージは「達成するための努力」に、マイナスのイメージは「防ぐための努力」につながります。プラスのイメージをもって挑戦する人になりたいですね。

子どもだけでなく、私たち大人も子供たちとともに日々チャレンジしていきたいですね。

（校長）